

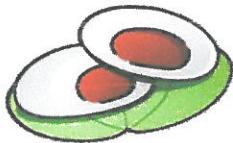


人権教育課ニュース

5月号 (第340号)

八尾市教育委員会人権教育課発行

刊行物番号 H28-20



「人権教育推進のための手引 第18集」 が配布されました

- 今年度も「人権教育推進のための手引」を八尾市内の全学校園に配布します。昨年度 1 年間、編集委員として制作・編集に携わっていただいた先生方のおかげで、第 18 集もすばらしい 11 の学習プログラムと 3 つのリズム遊びを掲載することができました。
- 「手引」には八尾市内の学校園での実践に裏打ちされた具体的な実践事例が掲載されています。子どもどうしをつないでいくための取り組み、子どもたちと社会をつないでいくための取り組み、子どもたちが人権課題を学び、自分の生き方を見つめていくための取り組み等を紹介しています。
- 編集委員会では幼稚園・小学校・中学校の 3 つの研究部会に分かれ、子どもたちの置かれている状況、課題、どんな教材やプログラムがその課題を克服していくのかについて話し合い、作成する学習プログラムのテーマを決めるところからスタートします。各自が提案する学習プログラムは、年間 5 ~ 6 回の研究協議の中で練り上げられます。八尾市における先生方の思いがつまつた、まさに「手作り」の教材集が、この「手引」なのです。私たちは、多くの学校園で、この「手引」が活用され、子どもたちの教育に役立つことを願っています。
- 「手引」には、「人権教育の資料・手引」第 48 集が合本されています。今回は資料として、平成 25 年 4 月に一部修正され大阪府教育委員会より発行されました「互いに違いを認め合い、共に学ぶ学校を築いていくために一本名指導の手引き（資料編）ー」と、平成 26・27 年に大阪府教育センター人権教育研究室より発行されている「人権教育リーフレット」より、「いじめ対応のポイント」「いじめ対応のポイント②」「ネット・スマートの問題と子どもの人権」「子どもの貧困」「子どもの貧困②」「セクシュアル・マイノリティの人権」「セクシュアル・マイノリティの人権②」を掲載しています。



23日（月）人権教育研修講座 第1講【インクルーシブ教育】

「インクルーシブ教育（共に学ぶ教育）を実践しよう！」

講 師：インクルーシブ（共生）教育研究所 所長 堀 智晴さん

新着ビデオ紹介



ねずみくんのきもち (DVD) 12分：

公園で仲良しのねみちゃんを持っているねずみくん。そこへいじわるねこくんがやってきました。ねこくんにまたいじわるされたねずみくんはかんがえます。「またいじわるされちゃった。ぼくって、小さくて気が弱くて、なにをしても失敗ばかり。だからいじめられるのかなあ」落ち込んでいるねずみくんに、ふくろうさんは優しく言いました。「きっとねこくんは、一番大切なものを忘れているんだよ」ねずみくんは、ふくろうさんと一番大切なものは何か気づいてゆきます。

どんぐりの森へ (DVD) 15分：

虫をいじめていたわんぱく少年が、どんぐり森で体験する不思議な出来事を通して、どんな生き物にもいのちがあり、それは、たった一つしかなく、失うと2度とは戻ってこない大切なものであることを学んでいく姿を描いています。

ながさきの子うま (DVD) 27分：

日本がまだ戦争をしていた昭和20年の夏。広島に原子爆弾が落とされ、たくさんの人々が亡くなったり3日後の8月9日長崎。再び原子爆弾が人間の頭上に落とされました。犠牲になったのは人間ばかりではなく、長崎に住んでいた、たくさんの動物達もまた犠牲になりました。その中にはお母さん馬と幼い馬もいました。

7日（火）人権教育推進のための手引編集委員会（全体会）

20日（月）人権教育研修講座 第2講【男女平等教育】

テーマ：「一人ひとりを大切にした、安心の場をつくるために」（題）

講 師：大阪家庭裁判所 調停委員 横本 桂子さん

23日（木）人権教育実践交流会（前期）

6月の行事予定